令和８年秋季火災予防運動を実施します

秋から冬にかけて火災が発生しやすい時季を迎えます。火災予防思想の一層の普及を図り、火災の防止と火災による死傷事故や財産の損失を防ぐことを目的として下記のとおり火災予防運動を実施します。

■運動期間　11月9日㈰～15日㈯

■運動内容　▶消防車両による防火パトロール
▶消防屯所、消防車両、消火栓等の点検
▶午後７時に防災無線によるサイレン放送
※実際の火災のサイレンではありませんのでご注意ください。

問　生活環境課消防交通係（内線 2134）

住宅防火 いのちを守る 10 のポイント

4つの習慣
1 寝たばこは絶対にしない、させない
2 ストーブの周りに燃えやすいものを置かない
3 こんろを使うときは火のそばを離れない
4 コンセントのほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く

6つの対策
1 ストーブやこんろは安全装置の付いた機器を使用する
2 火災警報器を定期的に点検し 10 年を目安に交換
3 寝具、衣類およびカーテンは、防炎品を使用する
4 消火器等を設置し、使い方を確認しておく
5 お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく
6 防火・防災訓練への参加、火防点検などの戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う

《住宅防火いのちを守る 10 のポイントの考え方》

●火災を発生させない（出火防止）　【習慣１～４、対策１】
↓
●早く知る・気づく（早期覚知対策）　【対策２】
↓
●燃え広がらせない（延焼拡大防止）　【対策３】
↓
●火災の初期の段階で消火する（初期・早期消火対策）　【対策４】
↓
●危ないと判断したら、素早く避難する（早期避難）　【対策５】

●隣近所との協力体制を構築する　【対策６】

11月12日～25日は「女性に対する暴力をなくす運動」期間です

暴力は、配偶者やパートナー間、デートDV、性犯罪、ストーカー行為などいずれも著しい人権侵害であり決して許されません。この期間中、暴力根絶への思いを込めて、役場メモリアルタワーがシンボルカラーである紫色にライトアップされます。もしあなた自身や、身近な誰かが悩んでいるなら、ひとりで抱え込まず、相談してみませんか。あなたの声を受け止め、力になれる支援があります。
詳細は岩手県男女共同参画センターＨＰをご覧ください。

問　岩手県男女共同参画センター（☎ 019-606-1762）

男女共同参画センターのHPはこちらから▶

■その他の主な相談窓口

性犯罪・性暴力			配偶者・交際相手からの暴力	
SNSで相談	電話で相談		SNSで相談	電話で相談
Cure time（キュアタイム）	性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター はやくワンストップ ＃8891	性犯罪被害者相談電話（警察） ハートさん ＃8103	DV 相談プラス	DV 相談ナビ はれれば ＃8008



来場者が多くのメニューを楽しんだ

第 13 回かもん金ケ崎オーワングランプリ 一杯に詰まった美味しさ

第 13 回かもん金ケ崎オーワングランプリ（かもん金ケ崎オーワングランプリ実行委員会主催）が９月 27 日、金ケ崎駅周辺で開催されました。各メニューは「おわん」で提供され、飲食済みのおわんと投票券を交換して投票。グランプリを目指し全 18 店が出店しました。今年は「ワタリガニトマトクリームスープパスタ」を出品したサバービアが見事グランプリに輝きました。初出場となった水沢第一高等学校調理科の伊藤希風（ののか）さん、伊藤愛里（あいり）さん（３年）は「伝統のバターチキンカレーを出品しました。いろいろな世代の方に楽しんでもらえるように甘めに作っているので食べやすいと思います。次回以降も是非参加して盛り上げたいです」と笑顔を見せました。



刈り取った稲を天日干しする児童たち

三ケ尻小学校総合的な学習の時間「稲を育てよう」（稲刈り編）

町立三ケ尻小学校（城守崇校長）の５年生 13 人は 10 月１日、総合的な学習の時間で「稲を育てよう」に取り組み、地域で稲刈りを体験しました。本学習は、JA 岩手ふるさと・地域住民から指導を受け、地域の農産物や食育を学び、地域の人々との交流を通じ郷土愛を育みます。参加した山影瑠貴（るき）さんは「祖父母の家でも田んぼをやっており、またここでも体験できてよかった。美味しいお米になれば嬉しい」と充実した表情を見せました。



華麗な演奏、演舞が披露された

秋の夕暮れ時に音楽を 金ケ崎要害歴史館すすきのコンサート

金ケ崎要害歴史館すすきのコンサート（金ケ崎町教育委員会主催）が 10 月３日、同館の広場で開催されました。永岡清流太鼓の会、水沢第一高等学校吹奏楽部、坂本社中、皆白行山流三ケ尻鹿踊保存会の４組が出演。秋の夕暮れ時に響き渡る音色を楽しみました。今年で 25 周年を迎えた永岡清流太鼓の会の高橋会長は「この綺麗な景色の中で披露できたことは嬉しく思う。会員は毎週練習し、ここまで愛される団体に成長できた。次の機会も良い演奏ができれば」と話しました。